

顧客インタビュー



現在入居いただいているお客様へ、
L.L.Townに入居したきっかけや魅力について伺いました。
※2020年8月取材、2020年8月現在の役職

設計、管理の「日本品質」に 深い安心感

——移転の経緯をお聞かせください。

ミャンマーで事業を展開して以来、現地のパートナー会社が借りる施設の一部を長期に渡り事務所として借りていました。しかし、事業拡大により従業員が増加し手狭となつており、他にも停電による業務への支障やセキュリティ面の不安、駐車場が隣接しておらず車の管理が難しい点を考慮し、契約更新時の移転を検討していました。そのタイミングで日本でも深いお付き合いのあるフクダ・アンド・パートナーズからL.L.Townを紹介され、移転に向け本格的に動き始めたのです。

——決め手はどんなところでしたか。

まずは日本仕様のきれいな施設で



ある点、設備・サービス面が充実している点です。トイレやミニショッピングなど共有部は常に清掃が行き届いており、非常に清潔感がありました。さらにヤンゴン市内の他物件と比べて事務所賃料がリーズナブルで、移転前の事務所からも近く従業員の通勤に影響が少なかったことも挙げられます。それから福田社長との話し合いの過程で駐車場の必要性を話したところ、「駐車場を用意します」と言って建物の敷地に駐車場を設置していただいたことも、大きな決め手でしたね。他の物件も検討していましたが、何度もご案内いただき熱意を感じました。

——入居されてみて、改めていかがでしょうか？

場所によっては、17時以降や土日祝日の利用は費用も発生して入退館できませんが、ここは24時間セキュリティシステムで時間外も安心して自由に使えます。停電が起きたときにジェネレーターに切り替わりますし、日本人も常駐しているのでトラブル・不具合等の対応も早いのです。対応する期日をちゃんと回答してくれる点もありがたい。そこも日本の品質ですよね。現地では、「でき

LOGITEM MYANMAR CO., LTD.
Managing Director

浜田 貴一 様



事業内容：ミャンマーで総合物流事業と旅客運送事業（レンタカー事業）を展開。レンタカーは日系企業や出張者・旅行者に向けて運転手付きの車を貸し出すサービスで、ミャンマーでは現在60～70台が稼働中



L.L.Townの駐車場を利用して管理している複数台の自動車

る」と言いつまでもやってくれないこともありますので(笑)。

日本の品質なので環境的にとても居心地がよくなりました。いい環境に移転できて、従業員のモチベーションもあがったと思いますね。

——今後、施設を含めどうなるとよいと思いますか？

今はL.L.Townのテナント向けシャトルバスとして、レンタカーを2台使っていただいている。入居テナントが増えればシャトルバスの利用者も増えると思いますし、個別でのレンタカー活用機会が広がる可能性もありますので、我々としても更なるテナント入居を期待しております。



L.L.Town Tharkaytaのオペレーションを支えるFLP Tharkayta所属の現地スタッフ

ミャンマーで活躍するF&Pのグループ会社

◎F&P Myanmar Co., Ltd.

(エフアンドピー ミャンマー)

2014年7月に設立。ミャンマーにおいて、設計・監理業務、PJM業務、不動産紹介、日系企業進出支援業務等を展開。

◎FLP Tharkayta Co., Ltd.

(エフエルピー タケタ)

2018年6月に設立。タケタ地区における（物流）不動産の開発、施設運営を展開。